

# 図書館だより 11月号

土浦二高図書委員会

後期第二回テストが終わり、寒さも厳しくなってきました。3年生は、推薦入試を受験した人もいて結果が待ち遠しいところですね。また、共通テストまでもあと1ヶ月半となり追い込みの時です。放課後など、静かな図書室で勉強に励んでください。

1、2年生は、次のテストまでしばらく空くので少しゆっくりできますね。そんなときには、是非図書館に来て読書をしてください。

## 研修報告

### 「令和7年度県南地区図書研修会」に参加しました！

この研修会は、毎年開かれる各校図書委員の交流及び研修会です。

土浦市立図書館研修室にて開催され、他校の図書委員と親睦を深めてまいりました。

日時：令和7年11月5日（水）13:15～

参加者：図書委員5名

内容：分科会 「ビブリオバトらず」

「とっておきの1冊を紹介します」



## 図書委員コーナー

### 『化物語（上・下）』 西尾維新（講談社BOX）

この本は、主人公の阿良々木暁と、周囲の少女たちが「怪異」に巻き込まれる話です。キャラクター同士の独特的掛け合いがとても魅力的な青春怪異小説です。シリーズものなので、気に入ったら他の巻も読んでみてください。

（1年7組 新田 千夏）

このコーナーでは毎月担当の図書委員が、おすすめの本や本にまつわるものを見せていただきます！

## 先生にインタビュー♪

### 藤田 多佳子先生 abo

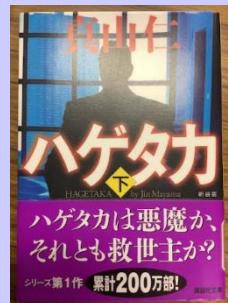
Q1 好きな本はなんですか？

今、楽しんでいる本は、『ハゲタカ』（講談社）シリーズで有名な真山仁という作家のミステリーです。社会派で登場人物もたくさん出てくるので、頭も混乱してくるのですが、前のページを読み返しながら、人物像を想像して夢中になって読んでいます。手に汗握る展開で、浮世の雑事からとことん離れられます。



Q2 高校生にお勧めの本はなんですか？

高校時代は手当たり次第に、硬軟かかわらず、いろいろな本を読むとよいと思います。当たりあり外れあり、それもまた人生です。



私が高校時代に大好きだった本は、『詩のこころを読む』茨木のり子（岩波ジュニア新書）です。小さなことから大きなことまでぐちゃぐちゃと思い悩む、暗黒の青春時代を送っていた私の心に小さな灯を照らしてくれた本です。岩波ジュニア新書なのでとても読みやすく、Japan Knowledge Schoolからも無料で読めます。



Q3 いつも本はいつ、どこで読んでいますか？

夜眠る前に、布団の中で読むことが多いです。現実世界から離れないと、思い悩んでしまって眠りにつけないので、ミステリーなどに夢中になって、いったん現実世界をリセットします。電車や飛行機に乗る移動の時間や、病院の待ち時間にも本を読んでいます。常に本を持っていないと不安で仕方ないです。電子書籍は、私の老眼の目には合わないようです。これは！と思うフレーズなどがあると、ページを折るくせもあります。

（1年7組 新田 千夏）

